

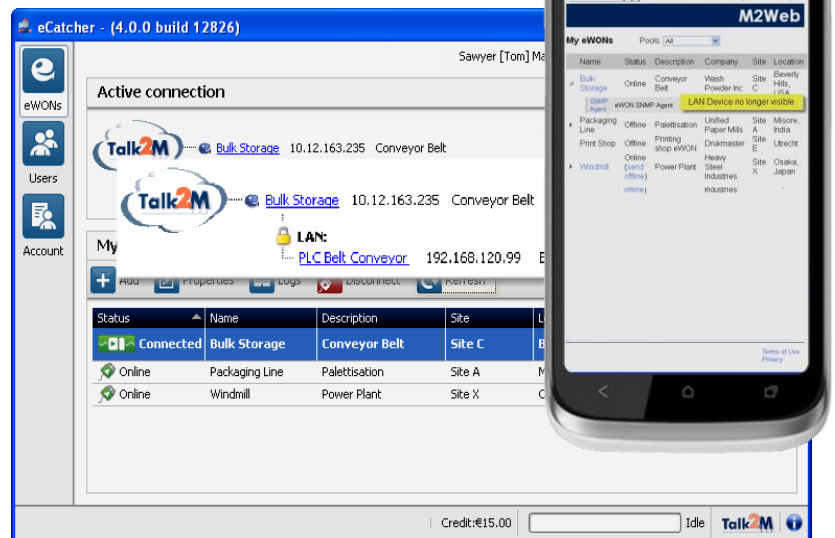


## Application User Guide

AUG 056 / Rev. 1.1

# eCatcher - Security Features with a Talk2M Free+ Account

このアプリケーションガイドでは、eCatcher 5 Free+ アカウ  
ントのセキュリティ機能について記述しています。



<b>1. 概要</b> .....	<b>3</b>
Scope .....	<a href="#">3</a>
Reference documents .....	<a href="#">3</a>
Software Requirements .....	<a href="#">3</a>
<b>2. セキュリティはNo.1 プライオリティ</b> .....	<b>4</b>
For Us .....	<a href="#">4</a>
And for You! .....	<a href="#">4</a>
Talk2M Free+ vs Pro Account .....	<a href="#">5</a>
<b>3. セキュリティポリシー</b> .....	<b>6</b>
<b>4. 二段階認証</b> .....	<b>8</b>
どのように動作するのか .....	<a href="#">8</a>
もしユーザがテキストメッセージを受信できない場合には.....	<a href="#">10</a>
テキストメッセージは課金されますか? .....	<a href="#">10</a>
バックアップ携帯電話番号 .....	<a href="#">11</a>
<b>5. ユーザと権限</b> .....	<b>12</b>
ユーザグループと権限 .....	<a href="#">12</a>
権限とグループの割り当て .....	<a href="#">12</a>
ユーザの無効化と削除.....	<a href="#">15</a>
<b>6. eWON アクセスコントロール</b> .....	<b>17</b>
<b>7. LAN デバイスアクセス制御</b> .....	<b>18</b>
<b>Revision</b> .....	<b>23</b>
Revision History .....	<a href="#">23</a>

## 1. 概要

### Scope

このマニュアルは、eCatcher 5 Talk2M Free+ アカウントのセキュリティに関する機能を範囲としています。

### Reference documents

- [R1] [https://websupport.ewon.biz/sites/default/files/aug-034-1-en-talk2m\\_-\\_getting\\_started\\_on\\_service\\_free.pdf](https://websupport.ewon.biz/sites/default/files/aug-034-1-en-talk2m_-_getting_started_on_service_free.pdf)
- [R2] [https://websupport.ewon.biz/sites/default/files/aug-057-0-en-ecatcher\\_-\\_security\\_features\\_with\\_a\\_talk2m\\_pro\\_account.pdf](https://websupport.ewon.biz/sites/default/files/aug-057-0-en-ecatcher_-_security_features_with_a_talk2m_pro_account.pdf)

### Software Requirements

- eCatcher version 5 以降がパソコンにインストールされていること。eCatcher 5 は以下の弊社のサイトからダウンロードが可能です。 <http://support.ewon.biz>.
- [R1] に記載されている手順で、Talk2M free+ アカウントが作成されていること。
- 接続先のeWONはファームウェアのバージョン 6.1 s2 以上であること。

## 2. セキュリティは No.1 Priority

### For Us

最もプライオリティが高いのは、製品が一流のセキュリティを備えていることと考えており、eCatcher 5 -Talk2M VPN connection utility はユーザの ITsecurity ポリシとも協調・適応することを補助できるツールを備えています。

本ドキュメントに記載されている eCatcher レベルでのセキュリティ機能に加えて、多くのセキュリティ機能が eWON 自体にも含まれています：

- パスワードで保護された Web & FTP access
- 設定可能なユーザ権限(10項目)
- 設定可能な WAN 通信制御
- 設定可能なトラフィック転送
- 設定可能な、許可されたポートの指定を含む VPN の送信元、送信先IPアドレス
- 設定可能な IP-Services ポート番号
- センシティブなデータの暗号化(オプション)
- パスワードで保護された IP アドレスの再設定 (オプション)
- 設定可能な static routing
- Etc...

そのほかのeWONの機能に関する情報は右記を参照してください。 <http://support.ewon.biz>

### And for You!

ユーザビジネスにフィットしたレベルに IT security を継続して協調していくために eWON がそのレベルに対応可能なツールボックスであるようにすることが我々の使命です。eCatcher 5 とTalk2M はあなたの装置へのリモートアクセスをするためのインフラ上の特定の要求を満たすため、セキュリティのレベルをカスタマイズするツールを提供します。

## Talk2M Free+ vs Pro Account

本ドキュメントは eCatcher 5 を Talk2M Free+ アカウントで利用することを範囲としています。Proアカウントで利用するには、右記のドキュメントを参照してください [\[R2\]](#)。

追加されるセキュリティ機能には以下が含まれます:

- 追加のパスワードポリシーオプション
- ゲートウェイとサービスレベルによるアクセス制限
- ユーザグループとeWONプールに対するアクセスコントロール

### - Good to know -

Free+とProアカウントの機能の違いは、Talk2Mレベルで管理されます。eCatcher application は同じものを使用できます。接続するアカウントによって、eCatcher はインターフェースの関連する機能を表示/非表示にします。このことは、Free+アカウントをProにUPDATEする際に新しいソフトウェアをインストールする必要がないことを意味します。

### 3. セキュリティポリシー

Talk2M Free+ アカウントでは、admin ユーザが Standard または Enforced セキュリティポリシーを選択することができます。これはアカウントレベルで定義され、admin ユーザを含むすべてのユーザに適用されます。

Security Policy ウィンドウを開くまでの手順：

アカウント > セキュリティ ポリシー > 変更...

以下のウィンドウが表示されます：

セキュリティポリシーの変更

標準セキュリティポリシー

パスワード：  
最小 8 文字。  
1つ以上の文字  
1つ以上の数字、または1つ以上の特殊文字

2要素認証：  
「このパソコンを記憶する」オプションは許可されています。  
「このパソコンを記憶する」には有効期限がありません。

強力なセキュリティポリシー

パスワード：  
最小 8 文字。  
1つ以上の文字  
1つ以上の数字  
1つ以上の特殊文字

2要素認証：  
「このパソコンを記憶する」オプションは許可されていません。

OK キャンセル

標準セキュリティポリシーが選択された場合、パスワードに対して一つの制約が課され、それは6文字以上にする必要があります。この(デフォルトの)選択は偽装したユーザの侵入に対してリスクを無視できる場合にのみ選択されるべきです。

標準セキュリティポリシーを選択する場合、二段階認証が有効化された際に”このパソコンを記憶する”オプションを選択可能で、自動で期限が切れることはありません。

強力なセキュリティポリシーが選択された場合、すべてのパスワードは4種の異なる要件が課されます: 8文字以上で、アルファベット、数字、特殊文字を含む必要があります。

1 ['What is the "Remember this PC" option ?'](#) sectionにさらなる情報があります。

例: Brasil2014%

この例では、11文字、6文字がアルファベットで、4つの数字と1つの特殊文字が含まれています。Enforced セキュリティポリシーを使用する場合、二段階認証での”Remember this PC” オプションは許可されません。

**- Important -**

もし admin ユーザがすでに標準ポリシーの時にユーザを作成後、パスワードポリシーを標準から強力に変更した場合、そのパスワードは有効なままのこります。新しいポリシーは新規にユーザを作成する際、又は既存のユーザがパスワードを変更する際に適用されます。

Talk2M Pro アカウントにはもっと多くのパスワードポリシーがあります。 [\[R2\]](#).

---

2 See the ['What is the "Remember this PC" option ?'](#) section for more information

## 4. 二段階認証

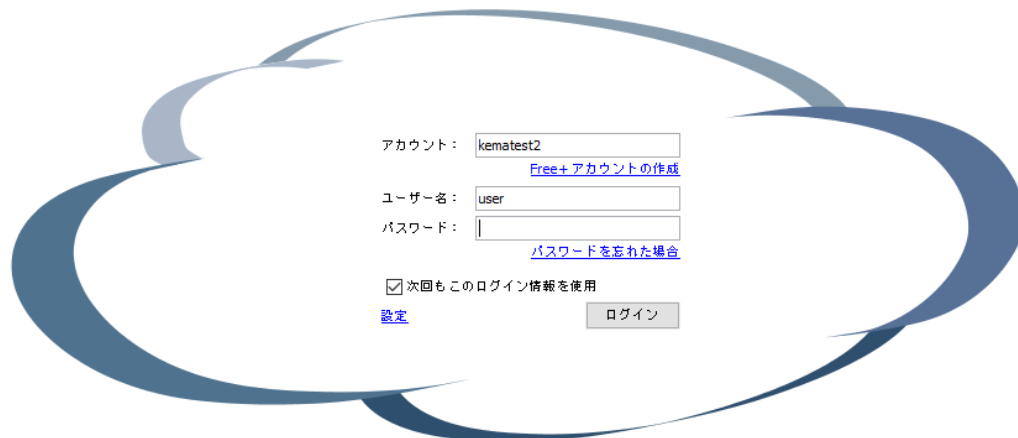
Talk2M アカウントのセキュリティを高めるため、二段階認証を有効にすることを強くお勧めします。

二段階認証では二つの異なるコンポーネントによる組み合わせによって、曖昧ではないユーザの識別を行うことができます。これらの二つの異なるコンポーネントは一般的にはユーザが知っていることと、所持しているもの(またはユーザから切り離せないもの)です。

eCatcherとM2WEBの接続では、二番目の認証要素は携帯電話になります。一度だけ利用可能で、動的に生成された4桁の数字を含むテキストメッセージが携帯電話に送信されます。

### どのように動作するのか

もし二段階認証がユーザに対して有効化された場合、ログインしようとした際、ユーザは最初にユーザネームとパスワードを使用します。

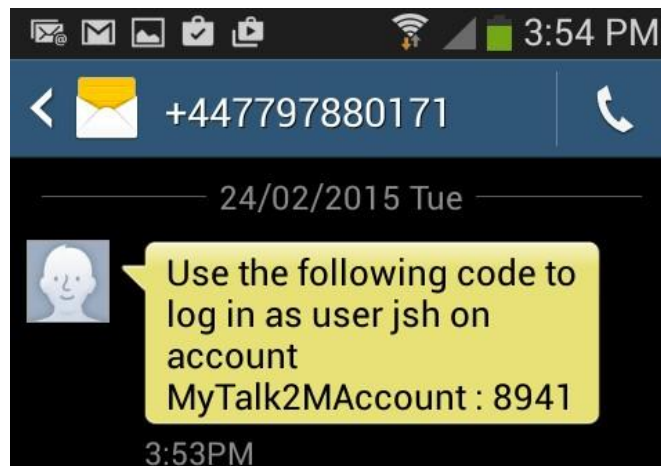


The screenshot shows a login form with the following fields and elements:

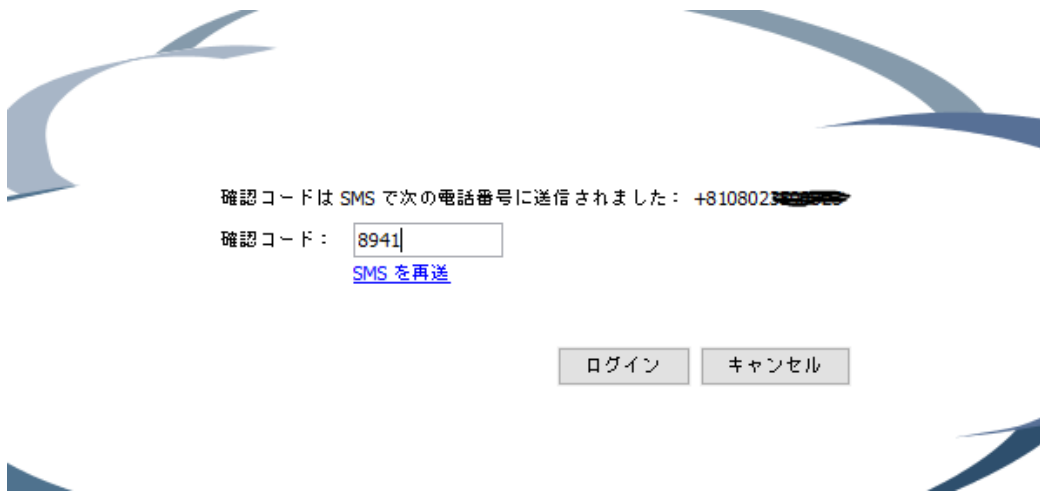
- アカウント: kematest2 (with a link [Free+アカウントの作成](#))
- ユーザー名: user
- パスワード: (with a link [パスワードを忘れた場合](#))
- 次回もこのログイン情報を使用
- [設定](#) button
- ログイン button

Talk2M システムはログインユーザのために携帯電話番号へテキストメッセージを送信します。





二段階認証で要求されるパスコードを含んだテキストメッセージ  
ログインプロセスを完了させるには、ユーザはセキュリティコード欄にこのパスコードを入力する必要があります。

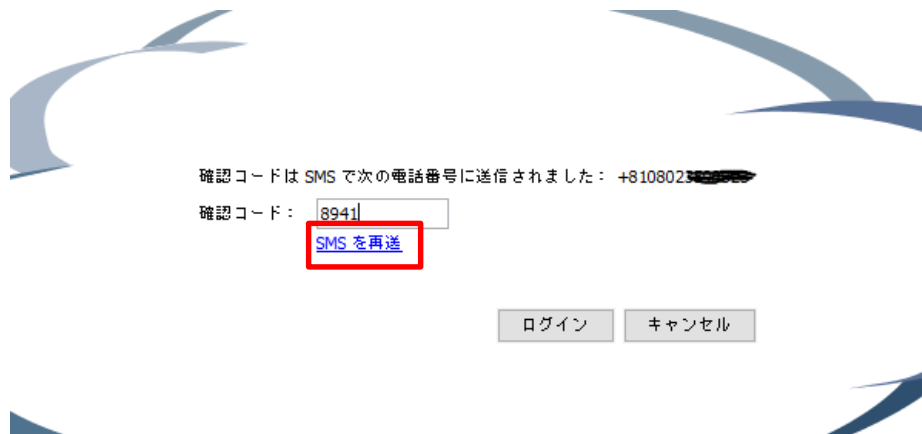


#### - Note -

ユーザは3回パスコードの入力を行うことができます。3回失敗した場合には、30分間ログインがブロックされます。

#### もしユーザがテキストメッセージを受信できない場合には？

もし何かしらの理由で、ユーザがテキストメッセージを受信できなかった場合、“SMSを再送”リンクをクリックすることができます。



ユーザは同じ携帯電話に対して、再度テキストメッセージを送信することができます。

#### テキストメッセージは課金されますか？

セキュリティはeWONとTalk2Mの最優先事項です。したがって二段階認証の際のテキストメッセージには課金されません。しかし悪用や乱用の疑いがある場合には、HMS はTalk2Mのアカウント管理者に対してコンタクトする権限を有します。

### バックアップ携帯電話番号？

ユーザ設定中に二段階認証のために携帯電話の番号を要求されます。

また、バックアップの携帯電話の番号を入力する可能性があります。これは1番目の携帯電話にアクセスできない場合や、紛失や故障の場合のためです。

したがってバックアップの携帯電話の登録を強くお勧めします。

#### - Note -

管理者権限を持つユーザは、必ずバックアップの携帯電話の番号を登録することが要求されます。

## 5. ユーザと権限

### ユーザグループと権限

Talk2M Free+ アカウントでは、admin ユーザは 新規のユーザを役割に応じて Administrators 又は Users グループにアサインすることができます。

**Administrators** グループの権限範囲:

- カスタムフィールドとセキュリティポリシーを含む アカウント情報の閲覧/変更
- 追加・閲覧・変更・削除・ユーザの無効化
- 各ユーザの二段階認証の有効・無効化
- eWON の追加・閲覧・変更・設定・削除・無効化
- アカウント内に作成されたすべてのeWON への接続

**Users** グループのメンバーができること:

- 自身のプロパティの閲覧
- 自身のユーザプロパティの変更 (管理者から権限が付与されている場合)
- アカウント内に追加されたすべてのeWON への接続

### 権限とグループの割り当て

ユーザのプロパティはユーザを新規に追加する際に設定します。

新規ユーザウィザードへのパス:

ユーザー > 追加

以下のウィザードが表示されます

新しいユーザー

ユーザー名: user2

氏名: Manabe

Eメール: stslage@fome.com

記述:

携帯電話: 例: +81 3 1234 5678

バックアップ携帯電話: 例: +81 3 1234 5678

新しいパスワード: ●●●●●●●●

パスワードの確認: ●●●●●●●●

ユーザーは、次回のログイン時に、パスワードを変更する必要があります。

このユーザーは 2要素認証を使用してログインする

権限:  名前を公開する  自分のプロパティを変更可  パスワードを変更可

次へ > キャンセル

#### - パスワード強度ゲージ

新しいパスワードを入力する際、パスワード強度ガイドが使用しようとしているパスワードの評価を示します。入力フォームの下部に表示される棒グラフゲージは入力するにつれてカラーリングされます。もっとも高い棒グラフが緑色になったとき、パスワードは安全です。この表示は、右記リンクのパスワード強度の強制ポリシーとは紐づいていません。

Adminユーザーは新規を下記のチェックボックスにチェックをして作成することができます:

- **ユーザーは、次回のログイン時に..** ユーザに対してadminユーザーがパスワードを設定する際によくチェックされます。
- **名前を公開する** 接続したユーザーの名前を公開する機能です。このオプションがチェックされているとき、そのユーザーが接続時にほかのユーザーの、“connected user” 欄に表示されます。
- **自分のプロパティを変更可** ユーザに自身名前、メール、パスワードの変更を許可します。自身の権限の変更はできません。
- **パスワードを変更可** ユーザにパスワードの変更を許可します。

次へを押下, 以下のウィンドウが表示されます。

Custom Field を入力します(オプションです。未入力でも可)

次へを押下, 以下のウィンドウが表示されます。

ユーザタイプを選択し、どちらかのグループにアサインします。

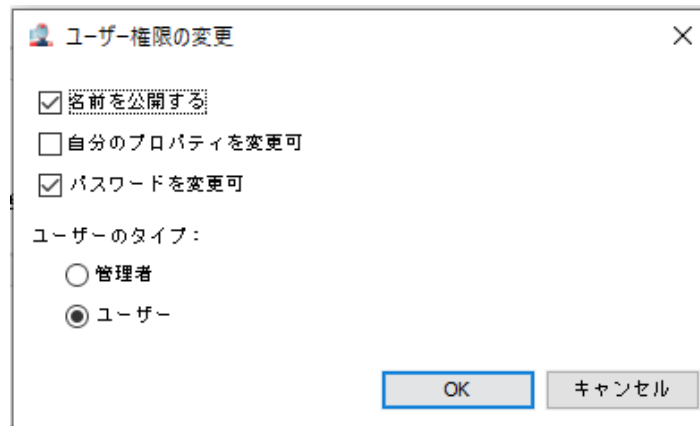
Talk2M Pro アカウントの場合には、さらに多くのユーザグループ管理オプションがあります。詳細な情報は右記を参照してください。[R2].

作成を押下.

ユーザ権限の変更ウィンドウから既存のユーザの権限の変更をすることができます。  
パスは

ユーザー > プロパティ > 権限 > 変更...

以下のウィンドウが表示されます:各オプションの意味は、新規ユーザ作成時の説明を参照してください。



### ユーザの無効化と削除

Adminユーザは、既存のユーザを削除することなく、アクセスのみを一時的にブロックすることができます。(ユーザの休暇、仕事のローテーション時など)

ブロックするためのパス:

ユーザー > プロパティ > 無効化

無効化されたユーザはユーザプロパティのバックグラウンドが灰色になります。再度ユーザを有効にするには、同じパスの 有効化 をクリックします。



Admin ユーザが永久にユーザのアクセスをブロックしたい場合、削除 をクリックします。



## 6. eWON アクセスコントロール

Talk2M Free+ アカウント上に作成されたすべてのユーザは、アカウント内のすべてのeWON に接続することができます。eWON のWEBサーバ又はFTPサーバへのアクセス制御は、eWON自身の user/password で管理することができます。

Administrators グループのユーザは、eCatcher 上の eWON のプロパティに接続可能で、変更することも可能です。UsersグループのユーザはeWONに接続することが可能ですが、eCatcher 上のeWONのプロパティを変更することはできません。

Talk2M Pro アカウントは、特定のユーザまたはグループに対して、接続を制限する機能があります。詳細な情報は右記を参照してください。 [\[R2\]](#)

## 7. LANデバイスアクセス制御

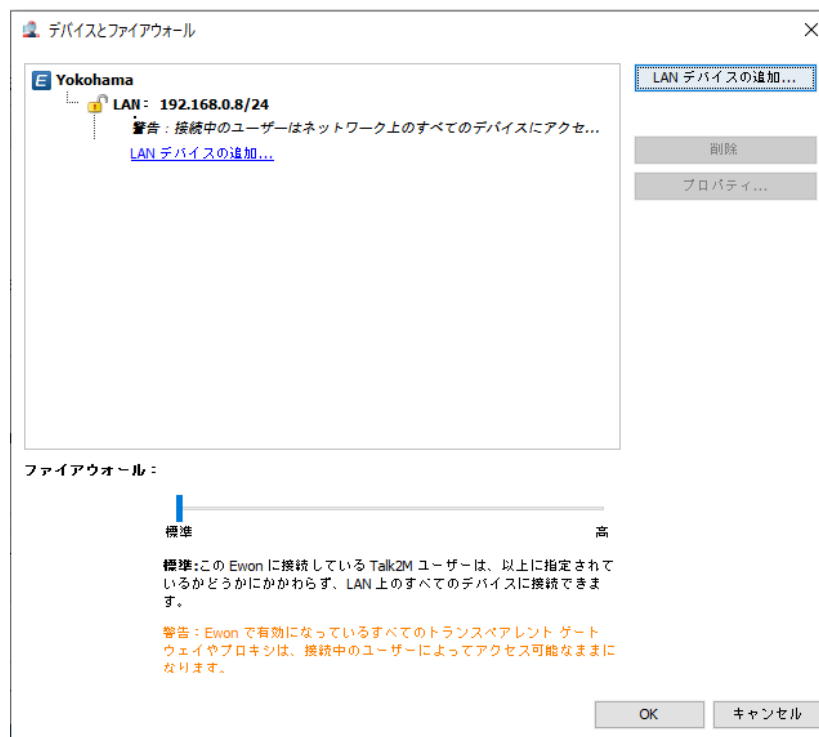
eCatcherの主な機能の一つとして、eWONのLAN側の依存関係を作成する機能があり、これらの依存関係を含んだネットワークをファイアウォールで保護することができます。

Talk2M Free+アカウントでは、adminユーザは各eWON個別に、どのLANデバイスに対して遠隔で接続可能にするのかを指定できます。

LAN依存関係とファイアウォール有効化の設定を行うパス:

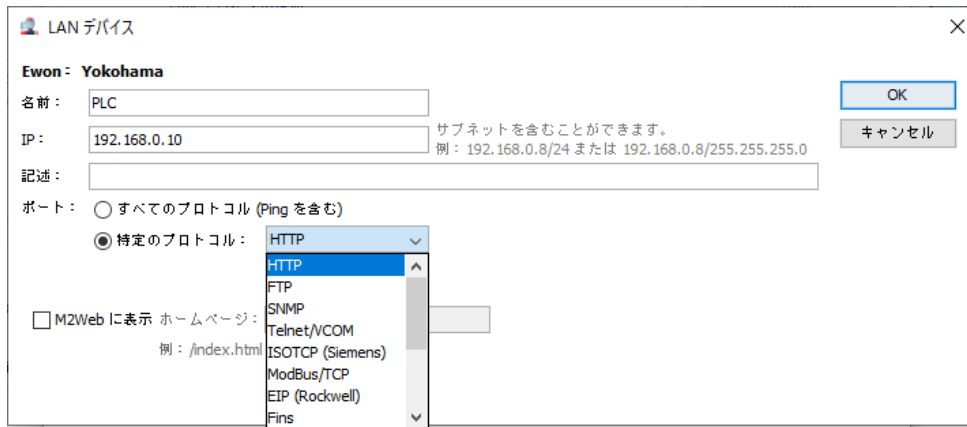
Ewon > プロパティ > LAN とファイアウォール > LANデバイスとファイアウォールの設定...

以下のウィンドウが表示されます:



**LAN デバイスの追加.. を押下**

以下のウィンドウが表示されます



eWON配下のデバイスに対応したフィールドに入力します。御覧の通り、サービスごとのポートを指定してアクセス制限を行うことができます。サービスポートは標準のプロトコルに対応するポートです。(例: 80 for HTTP)

Talk2M Pro アカウントでは、さらに、ポートの番号を任意に指定することができます。右記参照 [\[R2\]](#)。

さらに、**M2Webに表示** をチェックすることで特定のLAN依存関係をM2WEB上から見えるようにすることもできます。

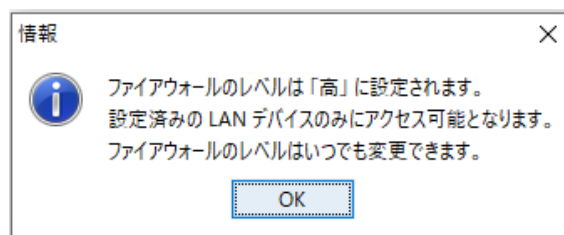
[M2Web](#) はTalk2Mインフラを利用した安全なモバイルウェブ接続です。オプションにチェックした場合、対応するLANデバイスはeWONの下にリストとして依存関係が表示されるようになります。

**- Note -**

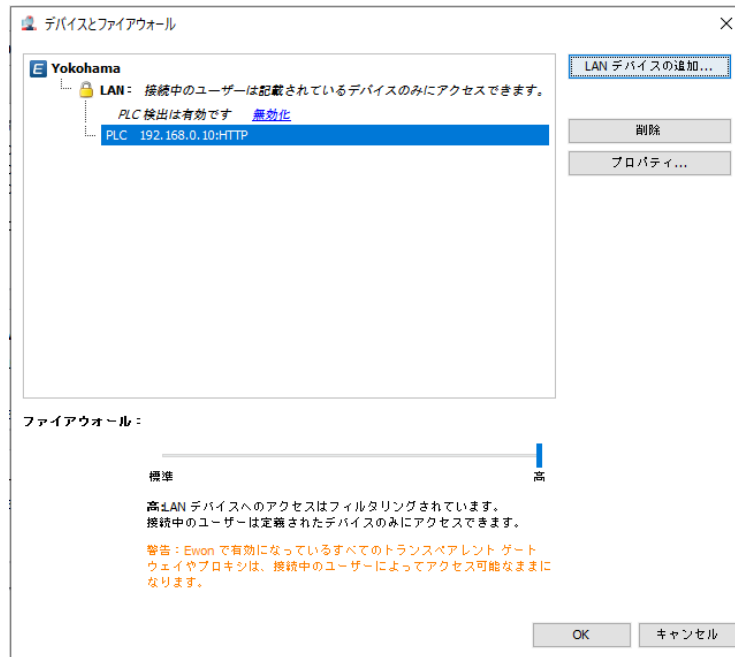
もLANデバイスのプロパティを編集した(例えば M2WEB で見えるようにしたり)場合、変更を適用させるには、M2WEBから一旦ログアウトし、再度ログインする必要があります。

**OK を押下**

ファイアウォール設定が「高」になりましたという警告メッセージが出力し、「高」に設定されます。



**OK をクリック**



新しく作成されたLANデバイスがeWONの下に表示されます。閉じた南京錠マークがLANインスタンスの横に標示され、これはファイアウォールが有効化されている事を示しています(ファイアウォールのスライダーが「高」になっていることからわかります)。

### OK を押下

ユーザがeCatcherを利用してeWONに接続した際、LANデバイスインスタンスもアクティブな接続の中に表示されます。



eWON(cosy wifi)をクリックすると、InternetブラウザでeWONのウェブページが開きます。LANデバイス(PLC1)をクリックすると、ターゲットデバイスがインターネットブラウザでウェブページが開きます。LANデバイスのIPアドレスの後ろの:HTTP はトラフィックがHTTPサービスのポート80に制限されていることを示しています。

#### - Reminder -

Talk2M Free+ では、eWON 自体にアクセスすることは制限されません。eWON へのアクセスと権限管理は eWON 内のユーザレベルで管理することになります。

#### - Note -

ファイアウォールを「標準」に設定すると、LAN インスタンスの横の南京錠は開いた状態が表示され、eWON の特定の LAN デバイスの IP アドレスのみにしかアクセスできない制限はなくなります。



The screenshot shows the eWON management interface. On the left is a sidebar with icons for 'eWON', 'ユーザー' (User), and 'アカウント' (Account). The main area is titled 'アクティブな接続' (Active Connections) and shows a 'Talk2M' cloud icon connected to 'cosy wifi' at IP 10.50.146.190 (LAN: 10.0.1.53). Below it, a 'LAN' lock icon is shown next to 'PLC1' at IP 10.0.1.20:HTTP. A '切断' (Disconnect) button is visible. Below this is the 'eWON リスト' (eWON List) section with a search bar and buttons for '+ 追加', 'プロパティ', 'ログ', '切断', '更新', and '地図を見る'. A table lists the active connections:

状態	名前	記述	接続中のユーザー	VPN IP	LAN ネットワーク
接続中	cosy wifi	auto created on 2019-08-08 01:22...	admin	10.50.146.190	255.255.255.0
Offline	Yokohama			10.50.143.191	255.255.255.0

## Revision

### Revision History

Revision Level	Date	Description
1.0	09/12/2013	Initial version
1.1	25/02/2015	Two-factor authentication added

### Document build number: 21

#### Note concerning the warranty and the rights of ownership:

The information contained in this document is subject to modification without notice. Check <http://wiki.ewon.biz> for the latest documents releases.

The vendor and the authors of this manual are not liable for the errors it may contain, nor for their eventual consequences.

No liability or warranty, explicit or implicit, is made concerning the quality, the accuracy and the correctness of the information contained in this document. In no case the manufacturer's responsibility could be called for direct, indirect, accidental or other damage occurring from any defect of the product or errors coming from this document.

The product names are mentioned in this manual for information purposes only. The trade marks and the product names or marks contained in this document are the property of their respective owners.

This document contains materials protected by the International Copyright Laws. All reproduction rights are reserved. No part of this handbook can be reproduced, transmitted or copied in any way without written consent from the manufacturer and/or the authors of this handbook.

eWON sa, Member of ACT'L Group